



ち☆ネット!



「顔の見える地域連携」を目指した多職種での情報交換と学びの会
それが、地域医療ネットワークの会です!

平成21年2月28日 第6回 地域医療ネットワークの会

「胃瘻の最新情報と地域でかかえる問題点」

ホテルモリノ新百合ヶ丘にて、病院、診療所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、老人保健施設、有料老人ホームなどの45施設 104名 多職種の方々の参加がありました。

医薬情報提供：経腸栄養剤・経口補水液 (株)大塚製薬工場 胃瘻造設キット展示 (株)メディコン
開会の辞 地域医療ネットワークの会世話人会代表 松田 隆秀
地域医療ネットワークの会・世話人会紹介 伊藤 正子



シンポジウム

座長：月川 賢 聖マリアンナ医科大学病院 消化器一般外科医師

- | | | | |
|-----------------------|---------------------|-------|-------|
| 1. 最新の胃瘻情報 | 聖マリアンナ医科大学病院消化器肝臓内科 | 医 師 | 澤田 武 |
| 2. 胃瘻造設後の指導と地域支援者への連携 | 聖マリアンナ医科大学病院神経内科病棟 | 看 護 師 | 藤間 幸 |
| 3. 栄養管理の視点から | 聖マリアンナ医科大学病院栄養部 | 管理栄養士 | 吉田 美紀 |

座長：奥瀬 千晃 聖マリアンナ医科大学病院 消化器肝臓内科医師

- | | | | |
|----------------------|------------------|-------|-------|
| 4. 在宅医の立場として 現在の問題 | たま日吉台病院 内科 | 医 師 | 加藤 義郎 |
| 5. 訪問看護の立場として 現在の問題点 | 訪問看護ステーション鶴川ひまわり | 看 護 師 | 坂本 由恵 |

全体討議：西川 真人 西川内科・胃腸科医師



全体討議は、会場からの質問に答える形式で進められました。日ごろから、疑問に感じている高齢者の胃瘻造設の可否についての質問には、胃瘻栄養を行うことにより、全身状態が改善し嚥下訓練が可能になったケースや、また、家族の精神的な支え



にもなることが、シンポジストから紹介されました。胃瘻交換時の注意点については、在宅での交換の危険性、内視鏡下での交換が望ましいこと。造設後に在宅療養へ移行する際には、介護者の能力や、経済面、栄養剤の選択の問題など、病院と在宅支援者との退院前カンファレンスが重要であることが、述べられました。胃瘻造設後の地域連携に関して・・・造設した病院としては、造設後の生活状況・経過などについて、十分把握できていない現状はあります。アフターケアを含めた地域とのネットワークについて検討する必要が課題として確認されました。





第6回地域医療ネットワークの会 フォトギャラリー

